

行仙宿巡回整備とモノレール延伸ルートを電源開発に提示

◇実施日 7月7日(金) 晴

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、湯川一郎、大江加予子、畑林清

子 5名

電源開発(株) 池田、花森 2名

モノレールの延伸については、事前に山林所有者と電源開発(株)の了承が必要である。モノレールの延伸計画はすでに両者にお伝えしていたが、5月のゴールデンウィーク明けにエンジンが起動しなくなったことから、モノレール施工会社のカマハラテックと接触しレール延伸の話が加速した。



洗濯済毛布を積む



電源開発社員と



行仙宿に着く

6月17日に湯川君と二人で山林所有者の上平前村長宅を訪ね、モノレールの延伸予定ルートと現況の説明をし、快諾を頂いた。現地の送電線を管理する電源開発(株)橋本事業所へも予定ルートの概略図を送付し、現地の確認をお願いしていた。その後、7月7日に2人が現地に出向くので、同行、説明をお願いしたい。との依頼があった。

大江さんと畑林さんに7日の予定を話したところ、「洗濯した毛布を持って行きたいし、竹林院接待のために行仙宿小屋の在庫を確認したので私達も一緒に行く」との申し出を頂いた。

当日午前9時、補給路登山口に7名が揃い、毛布とプロパンガスボンベやザック、背負子などをモノレール荷台に満載する。



持ち揚げたガスボンベ 本日の参加者(宿泊者と) 洗濯する毛布

モノレール終点から湯川、大江、畑林の3名に荷揚げをお願いし小屋に直行していただいた。沖崎、梶野の2名で電源開発(株)への説明に当たる。モノレール終点から第2ベンチ迄は送電線下を外れ

ているので問題は無いが、第2ベンチから上は完全に送電線の下になる。先日ポールを立てた終点予定地は、線下伐採で樹木が無くなったので第2ベンチからもよく見えている。

「モノレールは地上高も1m未満なので、送電線の下でも問題はありません。」とOKの返事を頂いた。

以前は新宮に来た電源開発(株)の社員と食事したり、祝賀会に出席して頂いたりとコミュニケーションがあったが、最近はそんなことも殆ど無かったので、この機会にヘリコプターでの荷揚げ協力などをお願いしておいた。電源開発(株)の社員2名とは終点予定地で別れ小屋へ向かう。

小屋では先着の3名が持ってきた毛布を収納、今日持ち降ろす汚れた毛布の梱包などを行っていた。持ってきたプロパンガスボンベにガス炊飯器を繋いでテストする。点火、燃烧も問題は無かった。

女性陣は4月頃から行仙宿訪問の都度、汚れた毛布を持ち降ろして自宅で手洗いしてくださいとさっている。今日持ち上げた分で40枚位は洗濯済みになったようだ。行仙宿の毛布は枚数が多いのでまだ半数には届いていない。暫くは毛布の上げ下げが続きそうだ。

今日7月7日は奇しくも七夕、しかし夕方から雨の予報なので昼食後すぐに下山した。予報通り夜は雨で星空は望めなかった。

(記：沖崎)

行動タイム

補給路登山口 09:00→09:52モノレール終点予定地→10:10行仙宿
11:56→12:23補給路登山口